

「熊本市人口（人口等基本集計）」の概要

令和 7 年（2025 年）10 月 1 日現在の国勢調査における「熊本市人口（人口等基本集計）」の概要は、次のとおりです。

I 人口及び人口増減率

令和 7 年（2025 年）10 月 1 日現在における本市の人口は 73 万 882 人で、前回調査と比較して 7,983 人減少し、令和 2 年（2020 年）から 1.1%減、年平均 0.22%減となりました。

表 I 本市の人口・世帯数の推移（当時人口）

年次	世帯数 (世帯)	人口（人）			1世帯 当り人員 (人)	人口性比 (女100人 につき)	
		総数	男	女			
大正	9 年	13 787	70 388	36 661	33 727	5.1	108.7
	14年	29 032	147 174	73 923	73 251	5.1	100.9
昭和	5 年	32 418	164 460	81 957	82 503	5.1	99.3
	10年	38 336	214 270	105 480	108 790	5.6	97.0
	15年	39 813	243 574	116 838	126 736	6.1	92.2
	20年	37 981	180 643	84 935	95 708	4.8	88.7
	25年	59 853	267 506	128 067	139 439	4.5	91.8
	30年	72 008	332 493	159 500	172 993	4.6	92.2
	35年	90 949	373 922	178 014	195 908	4.1	90.9
	40年	107 634	407 052	192 538	214 514	3.8	89.8
	45年	128 559	440 020	206 854	233 166	3.4	88.7
	50年	153 540	488 166	231 188	256 978	3.2	90.0
	55年	180 239	525 662	251 011	274 651	2.9	91.4
	60年	194 486	555 719	265 037	290 682	2.9	91.2
平成	2 年	211 207	579 306	275 424	303 882	2.7	90.6
	7 年	246 700	650 341	310 118	340 223	2.6	91.2
	12年	260 672	662 012	314 455	347 557	2.5	90.5
	17年	270 530	669 603	316 048	353 555	2.5	89.4
	22年	302 413	734 474	344 291	390 183	2.4	88.2
	27年	315 456	740 822	348 470	392 352	2.3	88.3
令和	2 年	326 920	738 865	349 115	389 750	2.3	89.6
	7 年	339 545	730 882	345 612	385 270	2.2	89.7

男女別人口は、男性が34万5612人、女性が38万5270人で、人口性比は89.7でした。人口性比は平成27年から上昇に転じ、今回の調査でも上昇幅は縮小したものの、上昇傾向が続いています。

表2 本市の人口・世帯数の推移（組替人口）

年次	世帯数 (世帯)	人口(人)			5年間の人口増減		年平均人口増減		1世帯 当り人員 (人)	人口性比 (女100人 につき)
		総数	男	女	増減数 (人)	増減率 (%)	増減率 (%)	増減率増減 (%)		
昭和 60年	219 953	654 348	311 883	342 465	—	—	—	—	3.0	91.1
平成 2年	238 602	680 765	323 411	357 354	26 417	4.04	0.79	—	2.9	90.5
7年	262 962	708 097	337 450	370 647	27 332	4.01	0.79	△ 0.00	2.7	91.0
12年	278 097	720 816	342 334	378 482	12 719	1.80	0.36	△ 0.43	2.6	90.4
17年	288 605	727 978	343 692	384 286	7 162	0.99	0.20	△ 0.16	2.5	89.4
22年	302 413	734 474	344 291	390 183	6 496	0.89	0.18	△ 0.02	2.4	88.2
27年	315 456	740 822	348 470	392 352	6 348	0.86	0.17	△ 0.01	2.3	88.8
令和 2年	326 920	738 865	349 115	389 750	△ 1 957	△ 0.26	△ 0.05	△ 0.23	2.3	89.6
7年	339 545	730 882	345 612	385 270	△ 7 983	△ 1.08	△ 0.22	△ 0.16	2.2	89.7

行政区別にみると、前回調査から人口が増加したのは南区のみでした。一方、中央区は増加から減少に転じ、東区、西区及び北区では、前回調査に引き続き人口が減少しました。

人口増減率の変化をみると、中央区は人口が増加から減少に転じました。また、南区では人口の増加幅が縮小し、北区では人口の減少幅が拡大した一方、東区及び西区では減少幅が縮小しました。

熊本県及び全国の人口増減率と比較すると、前回調査と同様、熊本県の人口増減率を下回った行政区はありませんでした。また、前回調査では西区及び北区の人口増減率が全国の人口増減率を下回っていましたが、今回調査で全国の人口増減率を下回ったのは北区のみでした。

表3 行政区別の人口・人口増減率の推移

	総数(人)				増減率(%)			増減率増減(%)	
	2025年	2020年	2015年	2010年	2025年	2020年	2015年	2025年	2020年
熊本市	730,882	738,865	740,822	734,474	-1.1	-0.3	0.9	-0.8	-1.1
熊本市 中央区	185,424	187,502	186,300	184,353	-1.1	0.6	1.1	-1.8	-0.4
熊本市 東区	189,014	189,524	190,451	188,082	-0.3	-0.5	1.3	0.2	-1.7
熊本市 西区	89,534	91,177	93,171	93,805	-1.8	-2.1	-0.7	0.3	-1.5
熊本市 南区	131,776	130,829	127,769	122,600	0.7	2.4	4.2	-1.7	-1.8
熊本市 北区	135,134	139,833	143,131	145,634	-3.4	-2.3	-1.7	-1.1	-0.6
全国(参考)	122,972,528	126,146,099	127,094,745	128,057,352	-2.5	-0.7	-0.8	-1.8	0.0
熊本県(参考)	1,677,302	1,738,301	1,786,170	1,817,426	-3.5	-2.7	-1.7	-0.8	-1.0

2 一般世帯数、世帯種類別人員数、世帯人員別一般世帯数の推移

本市の一般世帯数は 33 万 8601 世帯で、前回調査と比較して 1 万 2461 世帯増加しました。一般世帯人員数は 70 万 9148 人で、前回調査から 8834 人減少した一方、施設等の世帯の人員数は、2 万 1734 人で、851 人増加しました。また、一般世帯の 1 世帯当たり人員数は、2.09 人で、前回調査から 0.11 人減少しました。

行政区別にみると、一般世帯の 1 世帯当たり人員は、中央区が 1.75 人と最も少なく、南区が 2.41 人と最も多い結果でした。いずれの行政区でも減少傾向にあります。

表 4 本市の一般世帯数・世帯種類別世帯人員数・
一般世帯の 1 世帯当たり人員数の推移

	一般世帯数			一般世帯の人員数			一般世帯の1世帯当たり人員数			施設等の世帯の人員数		
	2025年	2020年	2015年	2025年	2020年	2015年	2025年	2020年	2015年	2025年	2020年	2015年
熊本市	338,601	326,140	314,740	709,148	717,982	720,358	2.09	2.20	2.29	21,734	20,883	20,464
熊本市 中央区	102,934	99,723	95,585	180,417	182,585	181,136	1.75	1.83	1.90	5,007	4,917	5,164
熊本市 東区	83,671	80,268	78,246	183,709	184,705	186,056	2.20	2.30	2.38	5,305	4,819	4,395
熊本市 西区	41,057	39,675	38,856	86,414	88,436	90,686	2.10	2.23	2.33	3,120	2,741	2,485
熊本市 南区	53,039	49,813	47,003	127,648	126,664	123,688	2.41	2.54	2.63	4,128	4,165	4,081
熊本市 北区	57,900	56,661	55,050	130,960	135,592	138,792	2.26	2.39	2.52	4,174	4,241	4,339

一般世帯数を世帯人員別にみると、1人世帯が 14 万 3422 世帯（一般世帯の 42.4%）と最も多い結果でした。また、世帯人員が多くなるほど、世帯数は少なくなっていました。2人世帯は 9 万 4058 世帯（同 27.8%）で、1人世帯と 2人世帯を合わせると、一般世帯全体の 70.2%を占めました。

前回調査と比較すると、1人世帯及び2人世帯はいずれも増加した一方、3人以上の世帯はいずれも減少しました。

行政区別にみると、中央区の1人世帯は 5 万 9020 世帯で、中央区の一般世帯の 57.3%を占め、他の行政区より構成比が 15 ポイント以上高い結果でした。一方、南区では、3人以上の世帯が 2 万 769 世帯で、一般世帯の 39.2%を占めました。

表 5 世帯人員別一般世帯数、構成比、一般世帯以外の単身者数の推移

		世帯人員別一般世帯数						世帯人員別一般世帯数の構成比						一般世帯以外の単身者数	
		1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	間借り 下宿等	独身寮
熊本市	2015年	115 557	84 225	53 574	40 474	14 676	6 234	36.7	26.8	17.0	12.9	4.7	2.0	1 988	1 457
	2020年	128 009	88 818	52 088	37 850	13 943	5 432	39.2	27.2	16.0	11.6	4.3	1.7	2 399	1 587
	2025年	143 422	94 058	49 651	34 650	12 532	4 288	42.4	27.8	14.7	10.2	3.7	1.3	3 829	1 880
熊本市 中央区	2015年	50 265	21 330	12 167	8 492	2 538	793	52.6	22.3	12.7	8.9	2.7	0.8	837	472
	2020年	54 764	22 212	11 747	7 835	2 420	745	54.9	22.3	11.8	7.9	2.4	0.7	780	584
	2025年	59 020	23 440	10 866	6 882	2 141	585	57.3	22.8	10.6	6.7	2.1	0.6	1 179	725
熊本市 東区	2015年	25 234	21 893	14 503	11 376	3 920	1 320	32.2	28.0	18.5	14.5	5.0	1.7	417	359
	2020年	27 647	23 014	14 033	10 620	3 729	1 225	34.4	28.7	17.5	13.2	4.6	1.5	541	361
	2025年	31 512	24 430	13 443	9 812	3 427	1 047	37.7	29.2	16.1	11.7	4.1	1.3	911	412
熊本市 西区	2015年	13 590	10 972	6 665	4 654	1 889	1 086	35.0	28.2	17.2	12.0	4.9	2.8	288	210
	2020年	15 023	11 340	6 393	4 355	1 705	859	37.9	28.6	16.1	11.0	4.3	2.2	323	99
	2025年	17 008	11 941	5 963	4 031	1 479	635	41.4	29.1	14.5	9.8	3.6	1.5	466	143
熊本市 南区	2015年	11 690	13 351	9 523	7 800	3 099	1 540	24.9	28.4	20.3	16.6	6.6	3.3	194	190
	2020年	13 443	14 704	9 487	7 584	3 196	1 399	27.0	29.5	19.0	15.2	6.4	2.8	348	311
	2025年	16 253	16 017	9 418	7 245	2 978	1 128	30.6	30.2	17.8	13.7	5.6	2.1	578	340
熊本市 北区	2015年	14 778	16 679	10 716	8 152	3 230	1 495	26.8	30.3	19.5	14.8	5.9	2.7	252	226
	2020年	17 132	17 548	10 428	7 456	2 893	1 204	30.2	31.0	18.4	13.2	5.1	2.1	407	232
	2025年	19 629	18 230	9 961	6 680	2 507	893	33.9	31.5	17.2	11.5	4.3	1.5	695	260

3 人口ピラミッド・年齢コーホート別人口増減率の推移

令和 7 年の人口ピラミッドのピークは、男性が 51 歳、女性が 52 歳であり、団塊ジュニア世代の人口が最も多い状況は令和 2 年と変わりませんでした。また、二つ目のピークは男女ともに 76 歳であり、団塊の世代が後期高齢者となったことに伴って、後期高齢者人口が大きく増加しました。

一方、前期高齢者に該当する 65～74 歳の人口は、前回調査と比べて減少しました。80 歳以上では、前回調査より各歳の人口が増加しましたが、人口ピラミッド全体の形状に大きな変化は見られませんでした。

若年層では、0 歳から 4 歳までの各歳人口の減少が顕著であり、つぼ型とされる人口ピラミッドの底部がさらに狭くなりました。一方、20 歳前後にみられるピークには大きな変化がなく、就学等に伴って人口が転入し、就職等に伴って転出する傾向が続いていると考えられます。

行政区別にみると、20～24 歳となるコーホートでは、中央区で人口が増加した一方、東区、南区及び北区では減少しました。また、西区の人口ピラミッドは他の区より規模が小さく、前回調査から形状に大きな変化はみられませんでした。

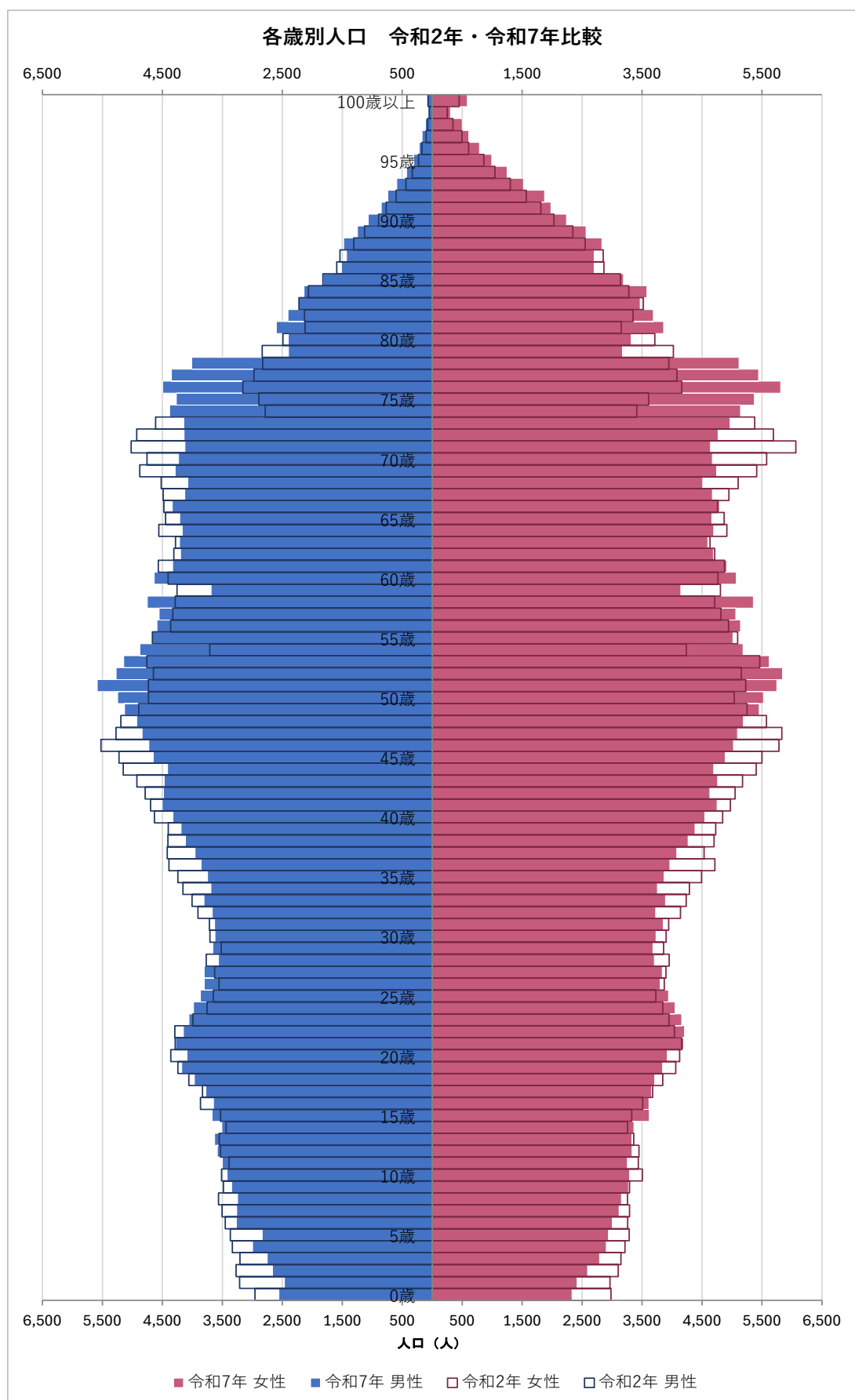


図1 熊本市の人口ピラミッドの推移（令和2年・令和7年比較）

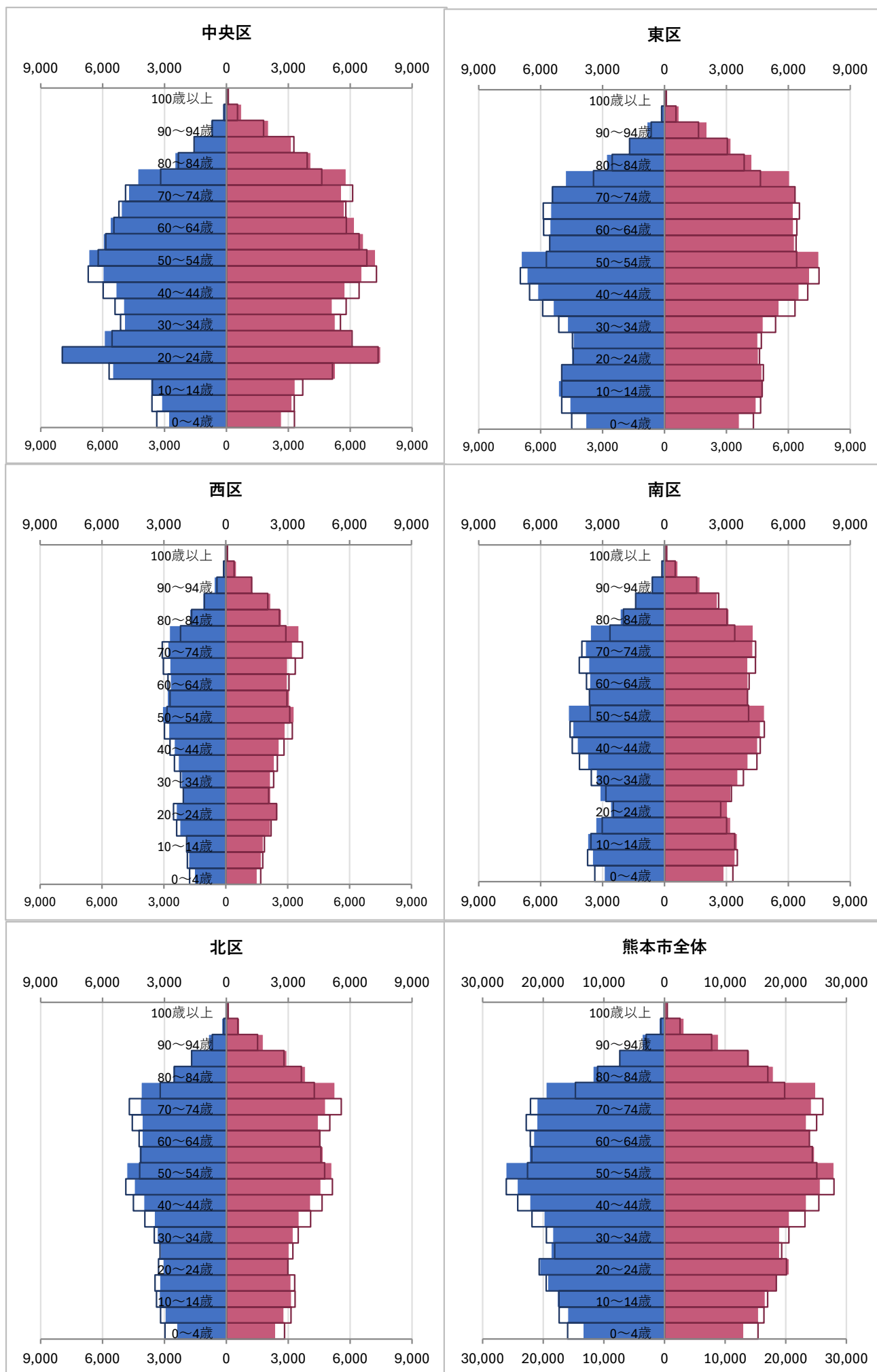


図2 各区の人口ピラミッドの推移の比較（令和2年・令和7年）

平成 27 年から令和 2 年及び令和 2 年から令和 7 年のコーホート別人口増減率をみると、中央区では、15～24 歳となるコーホートの人口が顕著に増加した一方、25～34 歳となるコーホートでは減少しました。また、西区でもおおむね類似した傾向がみられ、高等教育機関への進学等に伴う転入と、卒業や就職等に伴う転出が影響している可能性があります。

南区では、25～29 歳となるコーホートの人口増加が顕著であり、就職等に伴う転入が影響している可能性があります。

また、令和 2 年から令和 7 年にかけては、中央区を除く各区で、30～44 歳となるコーホートがおおむね増加しており、住宅取得や世帯形成等に伴う転入が影響している可能性があります。

一方、中央区では、40 歳代から 50 歳代となるコーホートが、平成 27 年から令和 2 年にかけては増加したものの、令和 2 年から令和 7 年にかけては減少に転じました。その要因を本表のみから特定することはできませんが、住宅取得や世帯構成の変化などに伴い、中央区から市内の他区等へ転居する動きが強まった可能性や、この年代の中央区への転入が前期間と比べて減少した可能性が考えられます。

表 6 年齢コーホート別人口増減率

コホート (H27 → R2 → R7)	平成27年から令和2年までの増減率						令和2年から令和7年までの増減率					
	市全体	中央区	東区	西区	南区	北区	市全体	中央区	東区	西区	南区	北区
0～4歳 → 5～9歳 → 10～14歳	-0.2%	-2.8%	+1.0%	-1.3%	+4.9%	-4.0%	+1.4%	+1.3%	+2.9%	+1.1%	-0.2%	+1.0%
5～9歳 → 10～14歳 → 15～19歳	-0.1%	+1.3%	-0.4%	-2.0%	+0.7%	-0.9%	+9.4%	+47.8%	-0.3%	+16.2%	-6.5%	-5.5%
10～14歳 → 15～19歳 → 20～24歳	+7.6%	+42.4%	-2.2%	+12.5%	-7.3%	-4.9%	+8.3%	+42.9%	-7.6%	+7.2%	-6.2%	-10.6%
15～19歳 → 20～24歳 → 25～29歳	+2.9%	+38.4%	-11.9%	+2.1%	-13.0%	-16.1%	-7.7%	-21.8%	-1.1%	-15.6%	+21.4%	-0.8%
20～24歳 → 25～29歳 → 30～34歳	-7.3%	-18.0%	-3.2%	-18.0%	+17.0%	-1.5%	-0.2%	-12.4%	+3.4%	+4.2%	+12.5%	+2.1%
25～29歳 → 30～34歳 → 35～39歳	-3.6%	-16.1%	-0.1%	-0.6%	+11.6%	-2.6%	+1.0%	-5.2%	+4.0%	+2.9%	+5.3%	+0.4%
30～34歳 → 35～39歳 → 40～44歳	+0.7%	-0.5%	+0.9%	-1.7%	+5.7%	-1.3%	+1.2%	-1.0%	+3.5%	+1.6%	+1.4%	+0.3%
35～39歳 → 40～44歳 → 45～49歳	+1.4%	+1.8%	+2.2%	-0.8%	+3.2%	-0.7%	+0.6%	+1.0%	+1.5%	+1.6%	-0.4%	-1.2%
40～44歳 → 45～49歳 → 50～54歳	+0.9%	+3.3%	-0.7%	+0.5%	+1.7%	-0.3%	-0.0%	-0.6%	-0.5%	+2.7%	+0.8%	-0.9%
45～49歳 → 50～54歳 → 55～59歳	+0.2%	+2.7%	-2.0%	+0.9%	+0.2%	-0.8%	-1.5%	-3.3%	-2.1%	-0.5%	+0.7%	-0.7%
50～54歳 → 55～59歳 → 60～64歳	-0.4%	+1.4%	-3.0%	+0.3%	+1.2%	-1.2%	-1.6%	-3.7%	-1.3%	-0.3%	-0.1%	-1.4%
55～59歳 → 60～64歳 → 65～69歳	-0.2%	-1.2%	-0.4%	-0.1%	+1.1%	-0.0%	-3.5%	-4.3%	-4.2%	-3.0%	-2.4%	-2.7%
60～64歳 → 65～69歳 → 70～74歳	-2.9%	-4.0%	-3.5%	-2.3%	-1.4%	-2.4%	-5.6%	-6.2%	-4.7%	-5.7%	-5.2%	-6.4%
65～69歳 → 70～74歳 → 75～79歳	-5.7%	-7.6%	-6.0%	-5.9%	-4.6%	-4.1%	-7.9%	-8.4%	-7.7%	-7.8%	-6.5%	-8.7%
70～74歳 → 75～79歳 → 80～84歳	-9.0%	-11.6%	-9.7%	-8.9%	-7.4%	-6.9%	-14.0%	-15.8%	-13.1%	-13.4%	-13.0%	-14.3%
75～79歳 → 80～84歳 → 85～89歳	-14.0%	-17.7%	-14.5%	-12.2%	-10.6%	-13.3%	-23.5%	-24.8%	-22.7%	-23.1%	-21.1%	-25.1%
80～84歳 → 85～89歳 → 90～94歳	-24.3%	-27.3%	-24.1%	-26.0%	-19.9%	-23.8%	-40.7%	-42.2%	-38.9%	-39.7%	-41.4%	-41.0%
85～89歳 → 90～94歳 → 95～99歳	-41.4%	-44.0%	-41.1%	-39.8%	-40.0%	-41.1%	-62.4%	-63.7%	-61.2%	-62.0%	-63.3%	-61.5%
90～94歳 → 95～99歳 → 100歳以上	-61.3%	-65.3%	-59.6%	-59.7%	-60.9%	-60.4%	-78.8%	-78.3%	-79.0%	-80.1%	-79.8%	-77.1%

4 年齢区分別人口の状況

本市の年少人口（15歳未満）は9万2127人（総人口の12.6%）、生産年齢人口（15～64歳）は43万6269人（同59.7%）、老年人口（65歳以上）は20万2486人（同27.7%）でした。

老年人口の割合（高齢化率）は各区で上昇傾向にあり、西区及び北区では3割を超えています。一方、前期高齢者の割合は各区で低下傾向にあり、団塊の世代が後期高齢者となったことが影響していると考えられます。

表7 年齢区分別人口の状況

地域	年	実数（人）					構成比（%）				
		15歳未満	15～64歳	65～74歳	75～84歳	85歳以上	15歳未満	15～64歳	65歳以上	65～74歳	75歳以上
熊本市	2015	103 559	458 306	89 083	60 541	29 333	14.0%	61.9%	24.2%	12.0%	12.1%
	2020	99 589	444 943	96 130	62 560	35 643	13.5%	60.2%	26.3%	13.0%	13.3%
	2025	92 127	436 269	89 634	74 113	38 739	12.6%	59.7%	27.7%	12.3%	15.4%
熊本市中央区	2015	21 884	122 521	20 741	14 233	6 921	11.7%	65.8%	22.5%	11.1%	11.4%
	2020	20 850	122 534	21 995	14 047	8 076	11.1%	65.4%	23.5%	11.7%	11.8%
	2025	18 739	120 400	21 096	16 655	8 534	10.1%	64.9%	25.0%	11.4%	13.6%
熊本市東区	2015	29 265	119 909	21 437	13 712	6 128	15.4%	63.0%	21.7%	11.3%	10.4%
	2020	28 142	114 930	24 156	14 474	7 822	14.8%	60.6%	24.5%	12.7%	11.8%
	2025	26 349	112 372	23 571	17 864	8 858	13.9%	59.5%	26.6%	12.5%	14.1%
熊本市西区	2015	11 612	55 233	12 816	8 997	4 513	12.5%	59.3%	28.3%	13.8%	14.5%
	2020	10 868	52 404	13 181	9 355	5 369	11.9%	57.5%	30.6%	14.5%	16.1%
	2025	10 214	51 061	11 710	10 682	5 867	11.4%	57.0%	31.6%	13.1%	18.5%
熊本市南区	2015	20 320	75 649	15 359	10 618	5 823	15.9%	59.2%	24.9%	12.0%	12.9%
	2020	20 902	74 984	16 957	11 055	6 931	16.0%	57.3%	26.7%	13.0%	13.7%
	2025	19 916	75 723	15 780	13 133	7 224	15.1%	57.5%	27.4%	12.0%	15.4%
熊本市北区	2015	20 478	84 994	18 730	12 981	5 948	14.3%	59.4%	26.3%	13.1%	13.2%
	2020	18 827	80 091	19 841	13 629	7 445	13.5%	57.3%	29.3%	14.2%	15.1%
	2025	16 909	76 713	17 477	15 779	8 256	12.5%	56.8%	30.7%	12.9%	17.8%

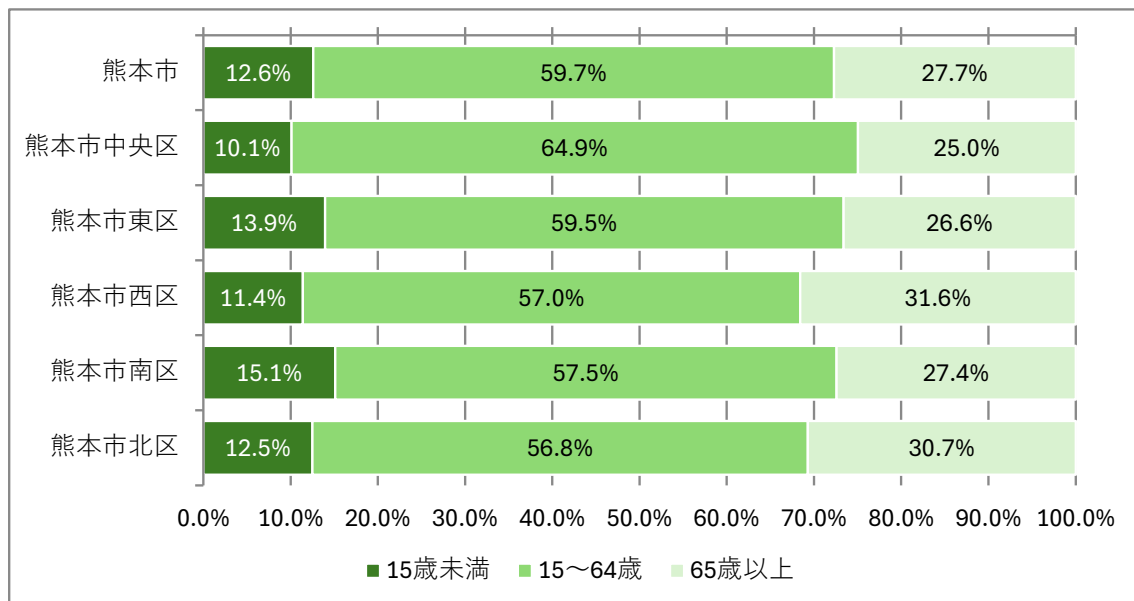


図3 年齢（3区分）別人口割合の各区比較

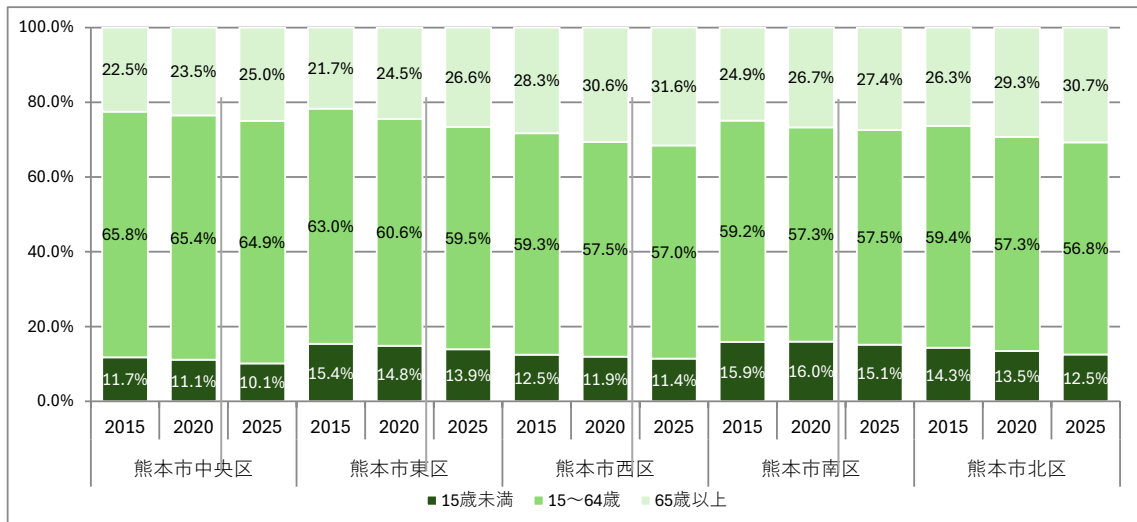


図 4 年齢（3 区分）別人口割合の推移（行政区別）

5 外国人人口の状況

外国人人口は 1 万 1231 人で、中国、ネパール、インドネシア、ベトナム、フィリピンなど、アジア各国の国籍を持つ人が多い結果でした。前回調査の 6677 人から 4554 人増加しており、前記 5 か国の増加数は計 3863 人で、全体の増加数の 84.8%を占めました。

行政区別にみると、外国人人口は中央区、東区、北区の順に多い結果でした。一方、前回調査からの増加率は北区が最も高く、次いで東区、南区の順でした。外国人人口は、前回調査からすべての行政区で増加しました。

表 8 国籍別外国人人口の変化

	熊本市		熊本市中央区		熊本市東区		熊本市西区		熊本市南区		熊本市北区	
	2025	2020	2025	2020	2025	2020	2025	2020	2025	2020	2025	2020
中国	3 036	1 880	1 549	962	629	323	288	226	145	185	425	184
ベトナム	1 711	1 248	256	226	369	294	274	174	273	239	539	315
ネパール	1 304	345	696	246	339	36	59	8	40	—	170	55
インドネシア	1 198	217	259	55	240	50	110	13	358	73	231	26
フィリピン	890	586	264	208	221	134	72	52	158	82	175	110
韓国、朝鮮	623	489	347	265	109	93	63	43	34	29	70	59
アメリカ	249	165	94	68	69	40	30	22	22	11	34	24
タイ	122	101	48	41	21	21	14	11	11	7	28	21
イギリス	70	49	32	23	14	11	9	6	3	1	12	8
インド	60	17	39	14	9	—	4	—	3	—	5	3
ブラジル	30	19	11	5	7	9	2	1	6	3	4	1
ペルー	2	2	1	1	1	—	—	—	—	—	—	1
その他	1 936	1 559	731	774	425	290	202	194	347	157	231	144
(以下再掲)												
ミャンマー	744	—	196	—	191	—	92	—	163	—	102	—
カンボジア	158	—	9	—	43	—	16	—	67	—	23	—
スリランカ	139	—	64	—	34	—	16	—	12	—	13	—
バングラデシュ	116	—	84	—	7	—	10	—	15	—	—	—
パキスタン	96	—	34	—	18	—	3	—	27	—	14	—
カナダ	42	—	19	—	10	—	10	—	2	—	1	—
フランス	37	—	28	—	4	—	5	—	—	—	—	—
オーストラリア	34	—	16	—	5	—	1	—	5	—	7	—
マレーシア	31	—	16	—	3	—	3	—	1	—	8	—
モンゴル	20	—	16	—	2	—	—	—	2	—	—	—
ロシア	13	—	6	—	3	—	2	—	1	—	1	—
その他（上記以外）	506	—	243	—	105	—	44	—	52	—	62	—
外国人人口計	11 231	6 677	4 327	2 888	2 453	1 301	1 127	750	1 400	787	1 924	951
増加数	4 554	—	1 439	—	1 152	—	377	—	613	—	973	—
増加率	68.2%	—	49.8%	—	88.5%	—	50.3%	—	77.9%	—	102.3%	—

6 配偶関係別人口の状況

男女別の15歳以上人口について、配偶関係別割合を年齢5歳階級別にみると、「有配偶」の割合は、男性では80～84歳の77.3%、女性では40～44歳の66.6%が最も高い結果でした。また、「有配偶」の割合が「未婚」の割合を上回ったのは、男女ともに30～34歳でした。

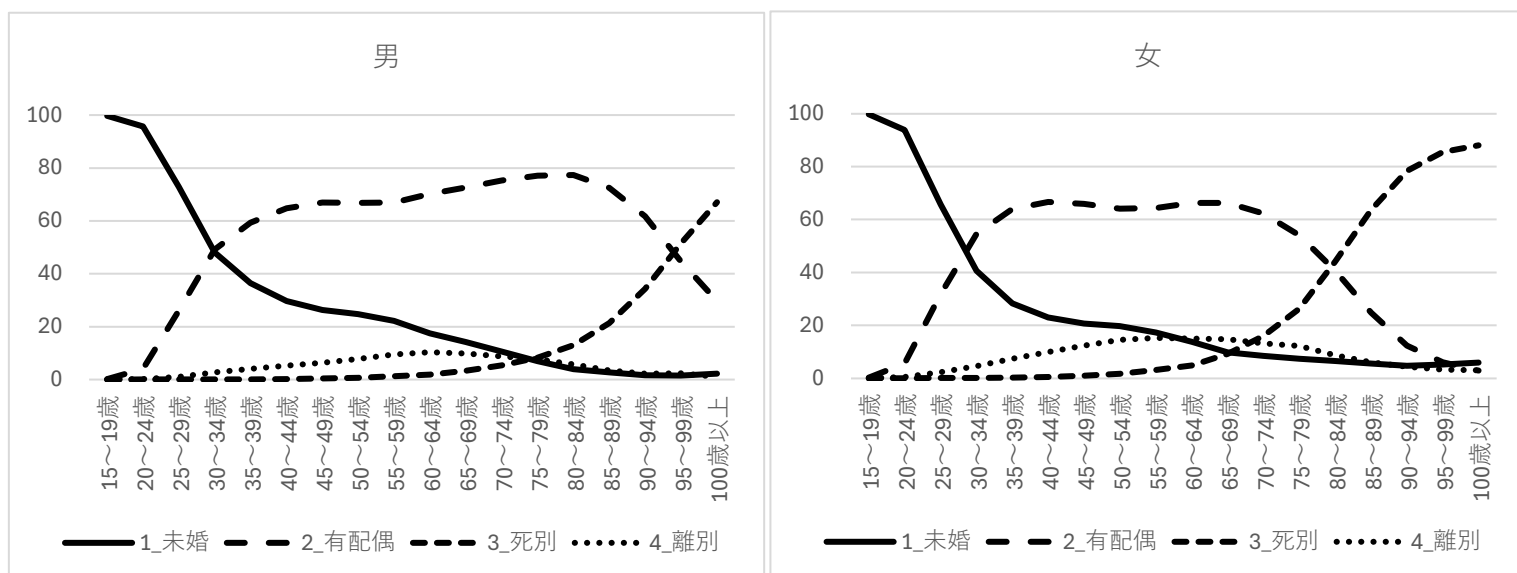


図5 15歳以上人口の配偶関係別割合（年齢5歳階級・男女別）

有配偶者の割合の推移をみると、男性では、ほとんどの年齢階級で低下しています。女性では、69歳以下の年齢階級でおおむね男性と同様の傾向がみられる一方、70歳以上の年齢階級では上昇傾向にあります。

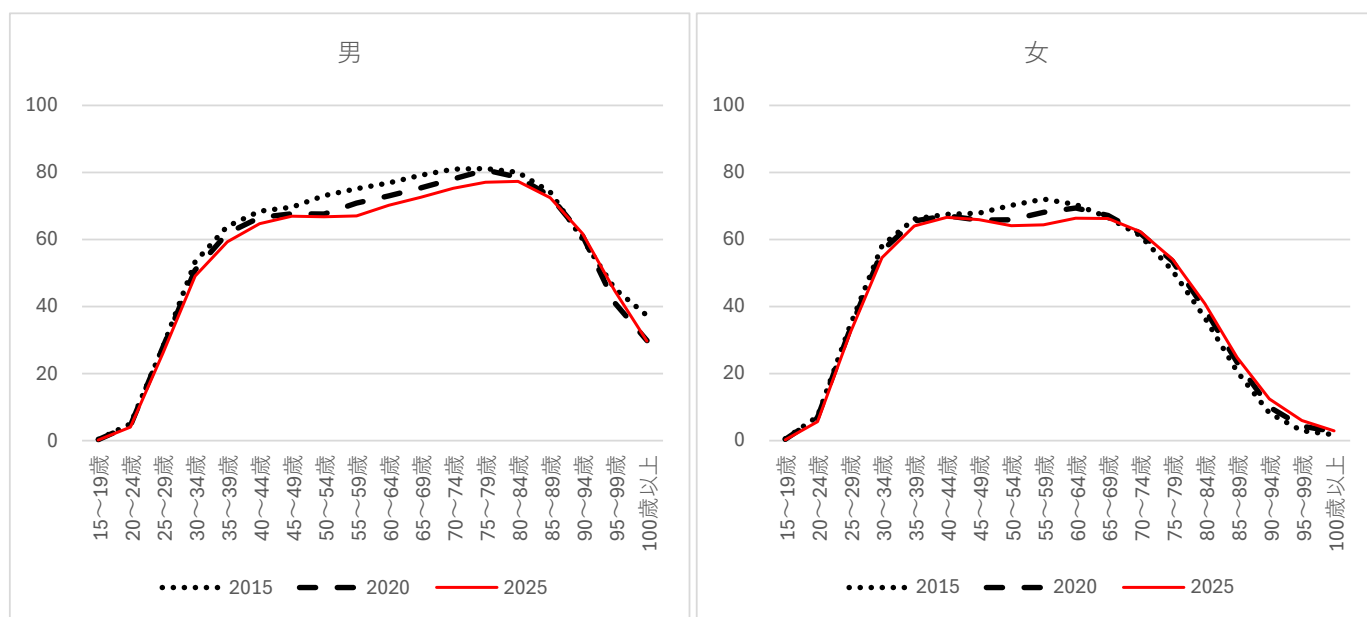


図6 15歳以上人口に占める有配偶者の割合の推移（年齢5歳階級・男女別）

出典：令和 7 年国勢調査（総務省統計局）

令和 2 年国勢調査（総務省統計局）

平成 27 年国勢調査（総務省統計局）

平成 22 年国勢調査（総務省統計局）

平成 17 年国勢調査（総務省統計局）

平成 12 年国勢調査（総務省統計局）

平成 7 年国勢調査（総務省統計局）

平成 2 年国勢調査（総務省統計局）

昭和 60 年国勢調査（総務省統計局）

熊本市統計書（熊本市）

注：「3 人口ピラミッド・年齢コーホート別人口増減率の推移」以降では、不詳補完値を用いている。令和 2 年のデータには令和 7 年国勢調査に伴って遡及集計された不詳補完値を、平成 27 年のデータには令和 2 年国勢調査に伴い遡及集計された不詳補完値を用いている。なお、令和 7 年国勢調査と令和 2 年国勢調査では不詳補完の方法が異なるため、令和 7 年及び令和 2 年のデータと平成 27 年のデータとの比較にあたっては、留意が必要である。